

(4) 委 員

委員は県立学校の校長、教頭、教諭の中から委嘱した。
委員は次のとおりである。
研究会議委員名簿

氏 名	職 名	勤 務 校	教 科 名
赤 津 千 町	校 長	県立福島女子高校	総 括
田 崎 宗 寿	教 頭	県立福島北高校	総 括
佐 藤 政 夫	教 頭	県立保原高校	芸術（音楽）
西間木 俊 夫	教 諭	県立安積高校	国 語
竹 岡 惇	教 諭	県立磐城女子高校	社会（地理）
満 田 修	教 諭	県立大沼高校	社会（政経）
鈴 木 仁 一	教 諭	県立安積高校	数 学
上 川 洋 行	教 諭	県立福島高校	数 学
宍 戸 俊 哉	教 諭	県立福島高校	理科（物理）
小 野 孝 雄	教 諭	県立保原高校	理科（化学）
柳 沼 定 雄	教 諭	県立白河女子高校	芸術（美術）
境 野 周 一	教 諭	県立郡山女子高校	国 語
大河原 博 美	教 諭	県立郡山工業高校	英 語
大 槻 博	教 諭	県立福島女子高校	保健体育
早 川 光 子	教 諭	県立相馬農業高校	家 庭
坂 内 健次郎	教 諭	県立会津農林高校	農 業
赤 城 良 一	教 諭	県立会津工業高校	工 業
清 水 明	教 諭	県立須賀川高校	商 業
佐 藤 英 昭	教 諭	県立福島高校	教 科 外
佐 藤 哲 郎	教 諭	県立須賀川女子高校	教 科 外
佐 瀬 一 夫	教 諭	県立福島盲学校	特殊教育

(5) 実施状況

- 第一回研究会議 6月24日（月）
① 研究会議の趣旨、日程等の説明
② 研究事項の分担、及び検討
第二回研究会議 7月17日（水）
研究事項の検討
第三回研究会議 10月15日（火）
研究事項の検討、資料の整理
第四回研究会議 11月22日（金）
研究成果の集約及び答申

第4節 学力向上対策

〔義務教育課〕

学力向上を重点目標として、教育諸条件の整備に努めるとともに、研究学校の指定等による学習指導の改善・充実に努力した。

その内容は次のとおりである。

1 教材研究協議会

(1) 目 的

現代科学の発達による社会情勢の変化に伴い、教育面に

も内容、方法、その他について、新しい社会の要請にこたえるべく学習指導の改善が求められている。

このような情勢下において、本県児童・生徒の学力向上を図るため、教科の本質に即した教材研究のあり方について研究協議し、学習指導の改善充実に努めようとするものである。

(2) 主 催 福島県教育委員会

(3) 期 間 2日間

(4) 期日・会場

管内	地区	期 日	教 科	会 場
県中	郡山	5月28・29日	音 楽	金透小
	田村	11月27・28日	国 語	三春小・中
県南	西白	11月20・22日	社 会	白河三小・中央中
会津	耶麻	11月20・21日	音 楽	喜多方一小
南 会 津		5月28・29日	図画工作	伊南小
相双	相馬	11月26・27日	図画工作	原町一小
い わ き		11月27・28日	家 庭	平二小

(5) 主な研修内容

- ① 講 義
○ 教材研究の進め方
○ 学習指導法
② 演習・実技
○ 授業研究
○ 教材研究
○ 実技研修

2 各種研究指定校（地区）の委嘱

本県児童・生徒の学力向上と豊かな人間形成に資するため、本年度も教育課程研究指定校（9校）地域教育研究開発地区（2地区）を指定し、その研究を深めることに努力した。

(1) 教育課程研究指定校

① 目 的

本県児童・生徒の学力向上を図るため、小学校・中学校の教育内容・方法について研究し、その成果を県下各学校に普及し、活用させる。

② 運 営

ア、過去における学習指導研究指定校の研究成果を十分に取り入れ、効率的な運営に努める。

イ、学校経営全般にわたって診断を行い、問題点は握と改善に努め、学力向上の成果をあげる。

ウ、研究計画の立案に当たっては、学校の実情、児童・生徒の実態をよくは握し、具体的な研究主題を設定する。

エ、年度末には研究報告書を作成する。発表会を行った学校は、研究集録をもってこれに代える。